



# 会報



## 第819回 例会報告 2011年2月15日

例会日 水曜日 12:30~13:30  
 例会場 ハピオ木野コミュニティーホール  
 創立 平成5年10月19日

会長 谷口善一  
 副会長 高倉功和  
 幹事 野村泰司

事務局 河東郡音更町木野大通西7丁目1  
 ハピオ木野内・Tel&Fax (0155)30-2347



帯広東RC 加藤会長挨拶

起立  
 握手  
 点鐘  
 開会宣言  
 ロータリーソング

我等の生業

### 会務報告

### ニコニコ献金

7クラブ合同例会のため省略

### 本日の食事



### 会長挨拶

帯広東RC 加藤会長

帯広5ロータリークラブそして芽室・音更ロータリークラブの皆さんこんにちは。本日のゲストは帯広生まれの長野オリンピックの男子500メートル金メダリスト、清水宏保さんです。清水さんは、大変お忙しい中、私どもの例会日程に合わせていただきました。すでにご承知の方もいらっしゃると思いますが清水さんは日本人で初めてスピードスケートで金メダルを獲得され、長野から始まり、世界で大変な活躍をされて、昨年引退をされました。現役時代、大変多くの方々の支援受け、そのことに対する感謝を込めましてスポーツを通じて社会に還元していこうと決意をされ、今年の春から日大の大学院に進まれまして医療経営学修士の取得を目指すそうでございます。また、昨年からは帯広の観光大使という形で地域に貢献をいただいております。本日の題名もそのような形で私達ロータリー活動に通じるものではないかと考えております。今月は国際ロータリー世界理解月間でありますので、最も相応しい話だと今回はご案内申し上げます、無理にきていただきました。会員の皆様方には短い時間ではありますが最後まで楽しんでいただきたいと思います。以上をもちました会長挨拶とさせていただきます。



ただいまご紹介いただきました清水です。よろしくお願いいたします。  
 先程、紹介のありました医療経営学修士については昨日、発表がございまして無事合格することができました。今日のテーマは、スポーツを通じての社会還元ということですが、僕がなぜこんなテーマで語らせて頂くかと言いますと。僕は、重度の喘息患者です学校の先生や医師の方々から喘息患者はスポーツをやっちゃいけない。やっても大成はしないと  
 言われ続けておりました。それを克服するのが、僕のモチベーションでした。喘息患者で世界的に結果を出した選手はあまりいませんし、日本国内では例がありません。喘息という病気は日本国内に300万人位いると言われております。その中で年間3000人以上が亡くなっているのが現状です。なぜかという、治療法の確立されたのは実は4年前なのです。

諸外国で有効な薬が発売されても日本国内で使用できるまで時間がかかったり器具も日本人にあわなかったりと、日本の最先端の医療が使えなかったんです。そんな中、僕は喘息を薬なしで運動療法のみで克服してきました。高校から大学に入るまで薬なしでやってきました。統合医療だとか運動療法という言葉がありますが、運動を知らない人が運動療法を教えている事が多いんです。だから、僕たちスポーツをやっていた人間が運動療法に関わりたいと思っています。なぜそう思ったかという、諸外国では一生涯行えるスポーツに1ドル投資することによって医療費が3ドル21セント軽減される。そういったデータがあります。そういった運動と医療をうまく組み合わせていくと医療費が削減されるのは、実際としてあるんですね。皆さんは僕たちスポーツ選手を支えていただいている経営者です。しかし、僕がもし経営者だとしたら、今のスポーツ選手に投資するかというとなかなか難しいと思います。やはり、日本にはスポーツ文化が根付いておらずスポーツ選手の社会的地位はありません。スポーツを辞めた後のセカンドキャリアにおいて彼らが活躍できる場所もありません。そこで、僕らのようなスポーツ選手が地元に戻って鍼灸師などの国家資格を取りつつ、トレーニング理論であったり栄養学であったり、そういったヘルスコンシェルジュとなり、子供たちに教えながら介護だったり、病院だったりして仕事をする。そういったシステム作りを今後やってきたいと思っています。そして帯広はリンクがあったり指導員がいたりという可能性が高い場所です。人間の脳の中で3歳から進化が始まり10歳で完成に近づくそうです。その小さな時に世界のトップカテゴリーの選手の指導を受ける事がとても重要なのです。スポーツ選手がビジネスで成功している例は稀ですが、僕はスポーツを通じた社会還元・社会貢献の前例を作りたいと思います。そういうことによって選手たちの意識を高め、企業が投資する意味も出てくると思います。私は、ヘルスコンシェルジュとして地域の医療費削減のお手伝いできればと思います。そういったものを、実現するためには、相当時間がかかると思います。本当に難しいです。僕は運よく大成できました。その経験を還元できる立場になり、医療との関わりを今後の使命だと思っています。そのためにもどうしたら良いか、皆さんからアドバイスをお願いします。



2011年2月15日 千葉 悟 出席委員長

### 例会案内

### 出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席者	メークアップ	欠席	出席率

月曜日 広尾RC：日高信金広尾支店2F  
 帯広南RC：北海道ホテル

水曜日 音更RC：ハピオ木野コミュニティホール  
 帯広RC：ホテルノースランド帯広

木曜日 足寄RC：足寄銀河ホール  
 清水RC：清水町中央公民館

火曜日 芽室RC：めむろーど2FセミナーホールII  
 帯広東RC：帯広ワシントンホテル

上士幌RC：川村会館

帯広西RC：北海道ホテル

金曜日 帯広北RC：ホテルノースランド帯広

発行元：音更ロータリークラブ 会報委員会

中山正良・白木幸久・小高良樹・高橋辰雄・阿部英輝・原田稔三・前田敏・佐藤誠・小枝秀則